



くわの実 読書会開催のご案内

寒さもいちだんと厳しくなりましたが、皆様にはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。日ごろはご支援ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、下記の通り読書サークル「くわの実」より定期読書会のお知らせです。本年も変わらぬお付き合いをお願い申し上げます。

【月の砂漠をさばさばと】

北村 薫【新潮文庫】

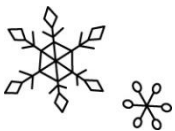
秋になったある日のことです。夕食の時、お母さんが、さばを煮ていました。あたりはしんと静まり返っています。おみその香りが台所に広がります。さきちゃんも台所に向かって、宿題をやっています。その時、お母さんがゆっくりと歌いだしたのです。

～本文より

9歳のさきちゃんと作家のお母さんは二人暮らし。毎日をとっても大事に、楽しく積み重ねています。お母さんはふと思えます。いつか大きくなった時、今日のことを思い出すかなー。

どんな時もあなたの味方、と
いってくれる眼差しに見守ら
れて下さる幸福。かつて自分が
通った道をすこやかに歩いて
くる娘と、共に生きる喜び、切
なさ。やさしく美しいイラスト
で贈る、少女とお母さんの12
の物語。

未読の方も、講師の中村先生
が分かりやすく解説して下さい
ますので、お気軽にいらして
下さい。



◆北村 薫
（1949年～）

埼玉県北葛飾郡杉戸町生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大学在学中はワセダミステリクラブに所属していた。

その後は母校である埼玉県立春日部高等学校の国語教師をしながら覆面作家としてデビュー。1991年に『夜の蝉』で第44回日本推理作家協会賞を受賞。これを機に、素性を明らかにした。2009年、『鷲と雪』で第141回直木賞を受賞。

国語教師時代の教え子にライメンズの片桐仁、演劇集団キヤラメルボックスの西川浩幸がいる。また、高校・大学を通しての後輩である折原一や、ワ

セダミステリクラブの後輩である歌人、藤原龍一郎との親交が深い。

※同著「リセット」(新潮文庫)を参考文献として取り上げる予定です。

【講師】中村 登喜子先生
元湘南学園小学校教諭
在職中よりくわの実に関わり、退職後から現在まで講師を引き受けてくださっています。丁寧な解説がとても好評です。

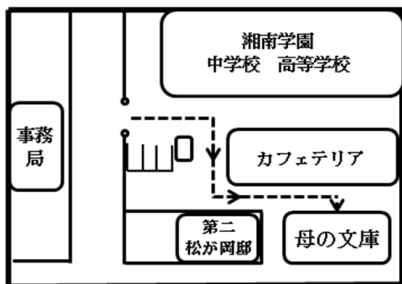


内容が変更になる場合があります。ご了承下さい。

開催日

2019年2月19日(火)
午前10時～12時頃を予定
※途中入場可、予約不要です。

読書会の後に、カフェテリアで昼食会を予定しています。参加できる方はラボカードをご持参の上、ぜひいらしてください。



場所：母の文庫

読書会のご案内は、湘南学園 HP からもご覧頂けます。